

令和3年度 三島保育園の自己評価

A…よくできた B…できた C…一部改善が必要 D…改善しなければならない

1. 保育理念・保育観		評価
1	保育士一人一人が、保育園の保育理念・保育方針を理解している	A
2	保育園の保育方針を理解して、保育計画が立てられている	A
3	常に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている	B
4	一人一人の主体性をたいせつにした保育をしている	A
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している	A

2. 保育計画・指導計画		評価
1	保育方針のねらい及び内容が発達できるような保育課程や保育計画を立てている	A
2	保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画・月案・週案を立てている	A
3	3歳児未満児は、現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた保育計画を立てている	A
4	配慮の必要な子にはそのこに応じた保育計画を立てている	A

3. 食育		評価
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	A
2	栄養士・保育士が連携し、会議等で意見を交わしながら、よりよい給食になるように努めている	A
3	できるだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている	A
4	給食やおやつは手作りしている	A

4. 職員構成・役割分担・研修		評価
1	職員の仕事や役割分担が明確であり、連携を取って円滑な園経営ができています	B
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができています	B
3	各クラスが連携をとって円滑な運営ができています	A
4	園内研修と園外研修の計画を立て、実行しています	B
5	施設設備や遊具等の安全点検を行っている	B

5. 保護者支援		評価
1	保護者と良好な関係を作ろうとしている	A
2	園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	A
3	保護者の状況を理解し、個人情報の漏洩に気を付ける	A
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している	A

6. 子育て支援		評価
1	地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている	A
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	A
3	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている	A
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している	B

7. 小学校や地域社会との連携		評価
1	定期的に小学校と交流を行っている	B
2	定期的に地域の様々な施設と交流し、意見交換を行っている	B

改善・検討策

<p>* 少子化の中、保護者が保育園に求めるニーズが高まっていると思われる。 そのような中でも、選ばれる保育園になるためには、園内研修をはじめ、職員一人ひとりの質の向上に取り組んでいる所である。 これからは、さらに職員間の連携力をあげていく体制作りが必須である。</p> <p>* コロナ禍の中、全ての行事を中止にするのではなく、少しでも多く子ども達の思い出に残るよう、出来る範囲ではあるものの、今後も引続き取り組んでいきたい。</p>
--